

**行田市公立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画に
関する保護者・住民向け説明会（長野中学校区）会議録**

- 1 開催日時 令和元年5月15日（水） 午後7時～8時20分
- 2 開催場所 桜ヶ丘公民館
- 3 出席者 保護者14人、その他住民9人 合計23人
- 4 教育委員会 鈴木教育長、門倉学校教育部長、江利川生涯学習部長
荻原学校教育部長、諸貫教育総務課長、白井主幹、久積、嶋田、柏瀬
- 5 会議内容

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
教育長	2 あいさつ
司会	3 教育委員会事務局紹介
教育総務課長	4 計画に関する説明
参加者A	5 意見等 東小は2035年度にそのまま建替えを行い、長野中は2046年度の建替えの際、建設地は未定だが、大きな再編を行うという理解でよいか。 2051年度建替えの桜ヶ丘小はどうなるのか。
教育総務課長	この先、子供の数があまりに少なくなれば、東小学校と桜ヶ丘小学校を集約することも考えていかなければならなく、現時点では東小をそのまま建替えることは決定していない。今ある学校をすべて建替えることは財政的に厳しいのも確かだが、財政面で集約するというのではなく、子供たちの教育環境をどう整えていくかを中心に考えていきたい。 小中一貫教育を推進していくことは決定しているが、長野地区における中期的な施設については決定していない。
参加者B	教員は業務量が多いという課題がある中、さらに再編準備業務が加わることで、その期間に通う児童生徒への教育が手薄になることはないか。
教育総務課長	教員の働き方について考えている中で、再編を推進するにあたって

	<p>教員の負担にならないような方策を考えていきたい。</p> <p>学校の規模に関係なく教員が行うべき業務は同じであり、小規模校の教員は、多くの業務を少人数で分担するため、その負担は大きい。その解消は教員の負担軽減にもつながるものと考えている。</p>
参加者C	<p>小中一貫校施設分離型、施設一体型とあるが、短期、中期、長期の3つで分けるとのことだが、施設をどこで区切るのか。</p>
教育総務課長	<p>カリキュラムの検討はこれからだが、施設分離型では、小学生は小学校、中学生は中学校に通うこととし、例えば、中学校の教員が小学校に出向いて授業を行うことになる。理想は施設一体型だが、施設分離型として教育効果を高めるための検討を行っていく。また、その検討経過についても周知していく。</p>
参加者D	<p>私の自治会は旧国道125号を境に桜ヶ丘小と東小に分かれている。地域に根差した学校ということで再編時にこれらを解消するとのことだが、再編時に学校を変えるという理解でよいか。</p>
教育総務課長	<p>地区内で複数の学校に行く地域においては、子供が参加する地区の行事などの際に支障が生じているとの声もある。そうした課題解決のためにも、学校と地域を合わせた方がよいと考えているが、具体的な区域の見直しや児童生徒の異動については地域と協議して決定していきたい。</p> <p>6 閉会</p>